

# 4 年齢別人口による東京都区部の住宅地域のクラスタリング

## －8 分の 1 地域メッシュによる分析－

### Clustering of Residential Areas in Tokyo 23 Wards by Population of 4 Age Groups : Using 125m Mesh Data of the Population Census

草野邦明 (群馬大学)

Kuniaki Kusano (Gunma University)

本研究では、東京都区部を事例として、人口とその年齢構成がどのように分布するかを、国勢調査 8 分の 1 地域メッシュを用いて分析・考察する。分析にあたっては、人口を 4 つの年齢別 (年少、前期生産年齢、後期生産年齢および老年) 人口に区分し、同年齢別人口数から住宅地域を分類した。その結果、東京都区部の住宅地域は 10 のクラスターで構成されており、これらは「平均的な人口密度と年齢構成の住宅地域」、「人口密度の異なる平均的な年齢構成の住宅地域」、「局所的な住宅地域」、「その他住宅地域」に大別することができた。

各地域の特徴として、(1)「平均的な人口密度と年齢構成の住宅地域」は、東京都区部全体の人口密度と年齢構成に近いクラスターであり、メッシュ当たりの人口数約 300 人、年齢構成では、前期・後期生産年齢人口を 1 とすると、年少人口約 1/3、老年人口約 2/3 となっている。同地域のクラスターは 1 つだけであるが、都区部の人口住宅地域面積の約 1/4 を占めている。次に、(2)「人口密度の異なる平均的な年齢構成の住宅地域」は、(1) と年齢構成は類似しているが、人口密度が異なる地域である。具体的には、0.3 倍人口密度の低いクラスター、0.7 倍人口密度の低いクラスター、1.5 倍人口密度の高いクラスターであり、人口密度の差は、住宅の建て方によって差が生じている。また、これら 3 クラスターで構成される同地域は、都区部の人口住宅地域面積の 50%以上を占めている。(3)「局所的な住宅地域」は、3 つのクラスターから構成されており、「超高層マンションの後期生産年齢人口卓越クラスター」、「高層マンションの後期生産年齢人口卓越クラスター」および「高層公営団地の老年人口卓越クラスター」が設定された。これらのクラスターは、東京湾沿岸に立地するタワーマンションや公営団地などであり、同クラスターの住宅地域の面積の合計は、都区部の人口住宅地域面積の約 2%であるが、8 分の 1 地域メッシュによって分布が初めて捉えることができた。最後に、(4)「その他住宅地域」は、(1)～(3) に属さないクラスターであり、「一戸建と中層共同住宅の老年人口卓越クラスター」、「民間借家の前期生産年齢人口卓越クラスター」および「高層マンションの前期生産年齢人口の多いクラスター」が設定された。

以上のように、8 分の 1 地域メッシュデータを使うことによって住宅地域を分類すると同時に、一戸建、低層から超高層までの共同住宅といった住宅建造環境と、それに伴う人口密度の相違、さらに年齢などの居住人口の特性を統合的に捉えることができた。